

全収蔵品9874点 調査対象作品は9682点

## 作品の評価における基準の考え方

- ①各時代の作品のうち製作優秀で我が国の文化史上貴重なもの
- ②各分野の作品に我が国の美術史・歴史上、特に意義のあるもの
- ③題材、品質、形状形態、又は技法等の点で特異性を示すもの
- ④我が国の美術史・歴史上重要な事象又は人物に関するもので歴史的又は系統的にまとまって伝存し、学術的価値が認められるもの
- ⑤海外の作品で、我が国の歴史上意義が深く、かつ、貴重性が認められるもの
- ⑥皇室に深く関わって制作、伝来してきたもので、皇室と文化の関わりにおいて意義深いもの（例えば、明治宮殿の装飾品として制作されたもの。皇室の伝統的儀式に使用するために制作されたもの。ボンボニエール。）
- ⑦昭和天皇までの各時代において、皇族方が国内各地の御訪問や、外国御訪問の際にそれぞれの地で献上を受けられたもの。各国王皇族から贈答されたもの。



## ランクは3段階

- A 国宝、重要文化財の候補になるレベルの質をもっているもの。  
作品が制作された時代において、重要なもの。  
皇室の歴史と文化との関わりにおいて重要なもの。
- B 美術的、歴史的価値を有し、博物館、美術館で展示することが適当なもの。
- C 美術的、歴史的価値が見だし難く、展示は不適当なもの。

結果(Aランクとする優品) 2484点

絵画 921点 書跡 236点 彫刻 74点 工芸 1093点  
考古 3点 写真 39点 歴史史料 114点 その他 4点

## 各分野の優品の特徴など

### ○絵画分野

- ・絵巻、屏風、中国絵画には、優品が多含まれ、国宝や重要文化財に肩を並べる貴重な作例が少なくない。
- ・掛軸類は、花鳥画、山水画、名所絵等の多様な画題の作品があり、その多くは既に三の丸尚蔵館での展覧会の企画に応じて様々な活用が行われてきており、また、国内外から高い評価を得て、日本絵画史の展開に重要な意義を持つような作品も含まれている。
- ・屏風や掛軸類等、極めて大型の作品が多くあり、安全な保管と活用のための十分な施設・設備が必要。
- ・献上や買上げ等、入手経緯の詳細が判明するものが多く、貴重である。
- ・近代の作品では、帝室技芸員をはじめ、代表的な作家の力作、大作が多いことは特徴。
- ・近代絵画では、関連する美術館・博物館等と連携することで、さらに研究、活用の進展が期待される。
- ・海外諸国の作品は、内外の専門家とも連携した研究を進めることで、重要性が一層明らかになるであろう。
- ・作品は、これまでの修理事業をもとに、さらに定期的なメンテナンス、修理等を行いつつ、保存状態の安定を図る作品を増やすことで、より国民への観覧に供することが可能となろう。

### ○書跡分野

- ・古筆の作品には、わが国を代表する優品が揃っており、修理措置や安全な展示空間によって展示の機会が増えることを期待したい作品群である。
- ・近衛家熙に関する作品、古筆手鑑、幕末維新の志士遺墨、近代初期の著名な政治家たちの作品群に特徴があり、それぞれが一つの展覧会を企画することが可能な作品群でもある。

### ○工芸分野

- ・帝室技芸員を初めとして、近代各時期を代表する作家の重要作品がまとまっている。
- ・茶壺や中国陶磁にも良質なものが少なくなく、今後の詳細な調査の後に公開が期待される。
- ・海外や国内の献上品には、他では見られない様々なジャンルや時代のものがあり、非常に珍しい。
- ・外国からの贈進品は皇室の外国との交流の歴史を、またボンボニエールや食器類は皇室文化を語る作品群として評価される。

### ○その他

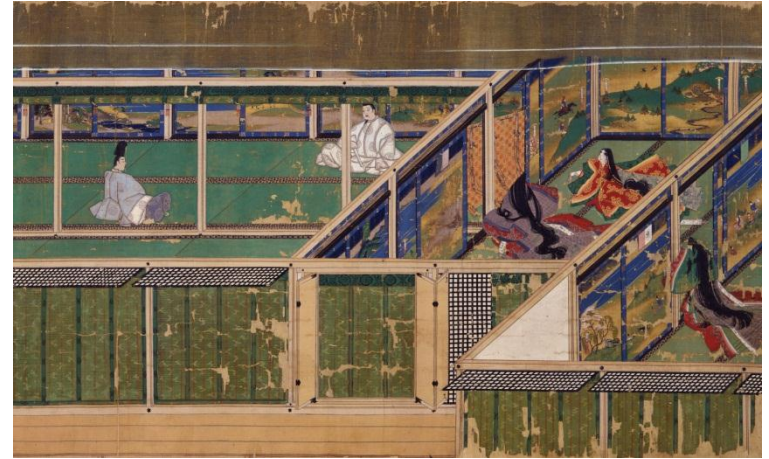
- ・写真は近代初期の貴重な作品が多く、保存と調査研究の両面が重要で注目される。
- ・展示空間は、作品の大きさに応じていくつかを考えておく必要がある。
- ・収蔵スペースは出来るだけ余裕があった方が良い。

## 優品とする主な作品

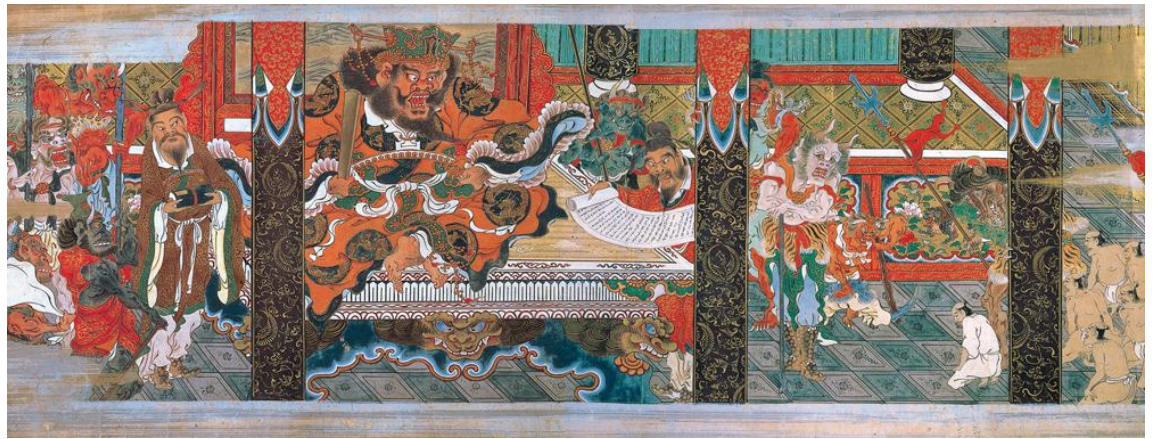
### ○絵画分野



高階隆兼「春日権現験記絵」20巻 鎌倉時代、延慶2(1309)年頃 明治8年・11年鷹司家献上



「蒙古襲来絵詞」2巻 鎌倉時代、13世紀  
明治23年、大矢野家より買上



岩佐又兵衛「をくり(小栗判官絵巻)」15巻 江戸時代、17世紀 明治28年、池田家より献上



狩野永徳「唐獅子図屏風」六曲一双 安土桃山時代、16世紀  
 (左隻: 狩野常信、江戸時代、17世紀)  
 明治21年、毛利家より献上



海北友松「浜松図屏風」六曲一双 江戸時代、慶長10年(1605) 【桂宮(八条宮)家伝来】



伝狩野永徳「源氏物語図屏風」六曲一双 安土桃山時代、16世紀 【桂宮(八条宮)家伝来】



伝狩野永徳「四季草花図屏風」のうち  
安土桃山時代、16世紀 【桂宮(八条宮)家伝来】



狩野探幽「源氏物語図屏風」六曲一双 江戸時代、寛永19年(1642) 【桂宮(八条宮)家伝来】



狩野探幽「井出玉川・大井川図屏風」六曲一双 江戸時代、17世紀 【桂宮(八条宮)家伝来】



円山応挙「牡丹孔雀図」1幅  
江戸時代、安永5年(1776)  
江戸時代後期に久我家より献上



伊藤若冲「動植綵絵」30幅 江戸時代、宝暦7(1757)年頃～明和3(1766)年頃  
明治22年、相国寺より献上



酒井抱一「花鳥十二ヵ月図」12幅  
江戸時代、文政6年(1823)  
明治43年、買上



荒木寛畝「孔雀図」1幅、明治23年(1890)  
帝室技芸員、第3回内国勸業博覧会出品作〔二等妙技賞〕



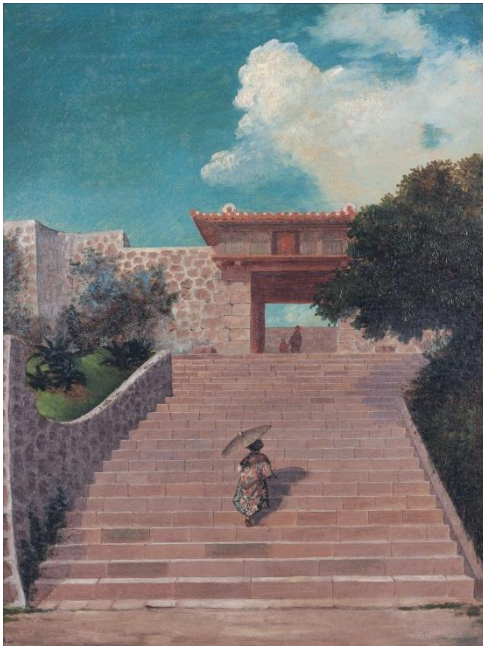
瀧和亭「孔雀鸚鵡図」二曲一双、明治29年(1896)  
帝室技芸員、昭憲皇太后御下命作



佐久間文吾「和氣清麿奏神教図」  
1面 明治23年(1890)  
第3回内国勸業博覧会出品作  
〔三等妙技賞〕



高橋由一「栗子山隧道」1面 明治14年(1881)



山本芳翠  
「首里城美福門」1面  
(九州・琉球巡視記録画  
連作のうち)  
明治20～22年  
(1887～89)



川端玉章「群猿之図」1幅 明治23年(1890)頃  
帝室技芸員



横山大観「朝陽靈峰」六曲一双、昭和2年(1927) 帝室技芸員、御下命



竹内栖鳳「虎」六曲一双、昭和3年(1928) 帝室技芸員、大礼につき京都府から献上



山口蓬春「三熊野の那智の御山」 1幅  
大正15年(1926) 第7回帝展出品作〔特選〕



上村松園「雪月花」3幅対 昭和12年(1937)  
帝室技芸員、貞明皇后御下命作



川合玉堂「雨後」1幅 大正13年(1924)  
帝室技芸員、第5回帝展出品作



西村五雲「秋茄子」1幅 昭和7年(1932)  
第13回帝展出品作



野口小蘋「大正度 悠紀地方風俗歌屏風」六曲二双のうち 大正4年(1915) 帝室技芸員



田中有美「岩倉公画伝草稿絵巻」21巻  
明治23年(1890)頃 御下命



高取稚成「赤坂離宮御苑」六曲一双  
昭和3年(1928) 貞明皇后御下命作

画帖類



昭和3年大札につき、  
岩崎家より献上の屏風  
5件

上から  
川端龍子「南山三白」  
橋本関雪「進馬図」  
鏑木清方「讃春」  
堂本印象「松鶴佳色」  
前田青邨「唐獅子」

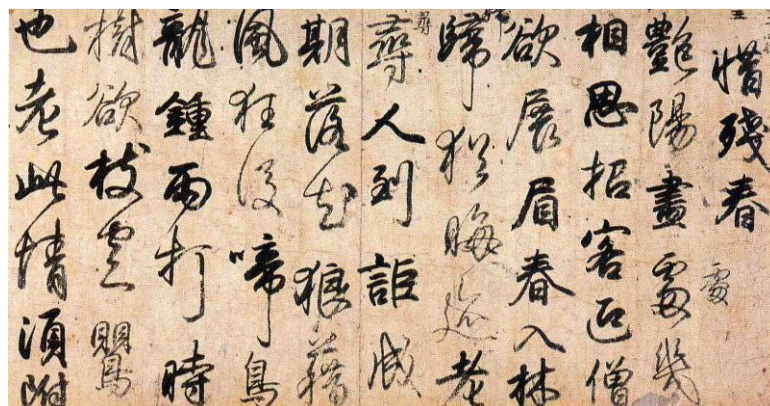


横山大観ほか「瑞彩」3帖(73図) 大正  
13年(1924)  
皇太子御成婚につき東京府より献上

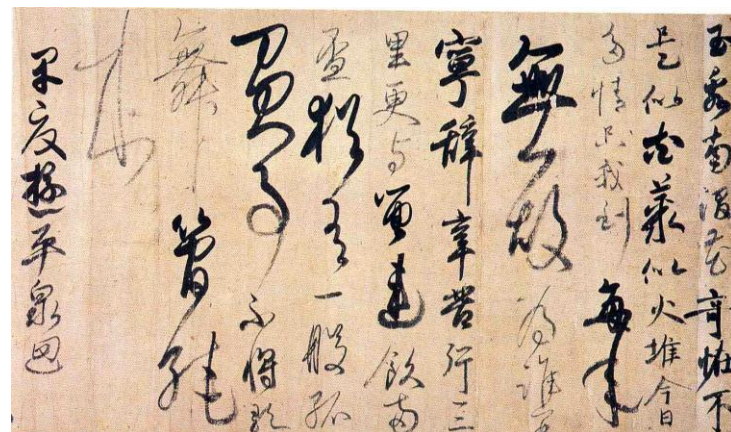
## ○書跡分野



王羲之「喪乱帖」1幅  
中国・唐時代(7～8世紀)搨模  
明治13年妙法院献上



小野道風「屏風土代」1巻 平安時代、延長6年(928)  
大正14年井上家献上



小野道風「玉泉帖」1巻 平安時代、10世紀  
明治11年近衛家献上